

全腎協第 20-1007 号

2020 年 5 月 12 日

全腎協加盟組織 御中
全腎協役員 各位

一般社団法人 全国腎臓病協議会
会長 馬場 享

新型コロナウイルス感染症対策について

【感染症対策取り組み継続のお願い】

新型コロナウイルスは、厚生労働省発表で 5 月 11 日現在、感染者 15,798 名、死亡者 621 名となっています。

人工透析患者では 5 月 8 日現在、感染者 76 名、死亡者 9 名となっています（日本透析医会、日本透析医学会の新型コロナウイルス感染対策合同委員会発表）。

テレビ、新聞等では、連日新型コロナウイルス感染症対策について報道されていますが、その中で「終息に向かっている」かのような言葉も聞かれます。しかし、今後の動向を注視し今しばらくは油断することなく、感染症対策にお取り組みくださいますようお願い申し上げます。

長期間の行動抑制、マスクの着用やうがい・手洗いの徹底、就労や所得への影響など様々のご苦勞や心配をされていることと思います。物理的なものだけではなく精神的な負担も日増しに大きくなってきていることと思います。

しかし、私たちは感染リスクが高いとされている人工透析患者であり、高齢であったり慢性腎不全以外にも疾患を持っている仲間が多数います。また、透析の医療現場では、ご自身の感染の危険がある中、医療従事者の皆さんは感染症対策に取り組みながら、透析治療を中断することなく治療にご尽力をいただいています。

私たちは、今まで通り透析が受けられていることを「当たり前」と思っはけません。多くの医療従事者の皆さんのご苦勞があつて治療が受けられていることを認識し、感謝し、今まで通り感染症対策に取り組みましょう。

よろしくようお願い申し上げます。

全腎協災害対策委員会からのお願い

新型コロナウイルス感染症対策にお取り組み頂きお疲れ様です。

鹿児島県奄美地方につづき沖縄県が梅雨入りしました。近年この時期にゲリラ豪雨が発生しています。昨年も活発な梅雨前線の停滞等により南九州や四国、千葉県を中心とした関東等で集中豪雨が発生し河川の氾濫や交通機関の混乱等各地で甚大な被害が発生しました。また、梅雨前線の停滞により土砂崩れなどの二次災害も発生しました。大規模な集中豪雨は、数年に1回ではなく、いつどこで発生してもおかしくない状況が続いています。

今後の天気予報や警報等に十分注意をいただき災害対策にお取り組みいただきますようお願い申し上げます。

あわせて、非常持出品の中に、マスク、消毒薬、体温計等新型コロナウイルス感染症対策に必要なものもご準備ください。避難所については、密集し感染の危険性があります。可能であれば、親戚宅等で安全に避難できる場所があるか予めご検討をお願いいたします。ここにすべてを書くことは出来ませんが、新型コロナウイルス感染症対策を含めた災害対策へのお取り組みをお願い申し上げます。

全腎協災害対策委員会 委員長 水本承夫

全腎協からの度重なるお願いですが改めてご確認ください。

新型コロナウイルス感染対策への取り組みが長期化してきましたが、油断することなく、引き続き対策にお取り組みくださいますようお願いいたします。

- 不要不急の外出は控えてください。特に、長距離の旅行などの移動は控えてください。
- 丁寧な手洗いと消毒、うがいをお願いします。
- 通院や外出時は必ずマスクの着用をお願いします。
- 患者会等で行う集会・イベント等は中止・延期する等、密閉・密集・密接の場は避けてください。

感染を防ぐことで、私たち自身の命を守ること、透析をしている仲間の命を守ること、家族の命を守ること、私たちの治療に日々ご尽力いただいている医療従事者、介護従事者の命を守ることに繋がります。

「一人じゃない、仲間と一緒に、助け合い」これからも一人ひとりが笑顔で暮らせるよう全国の仲間と共に感染予防に取り組んで行きましょう。